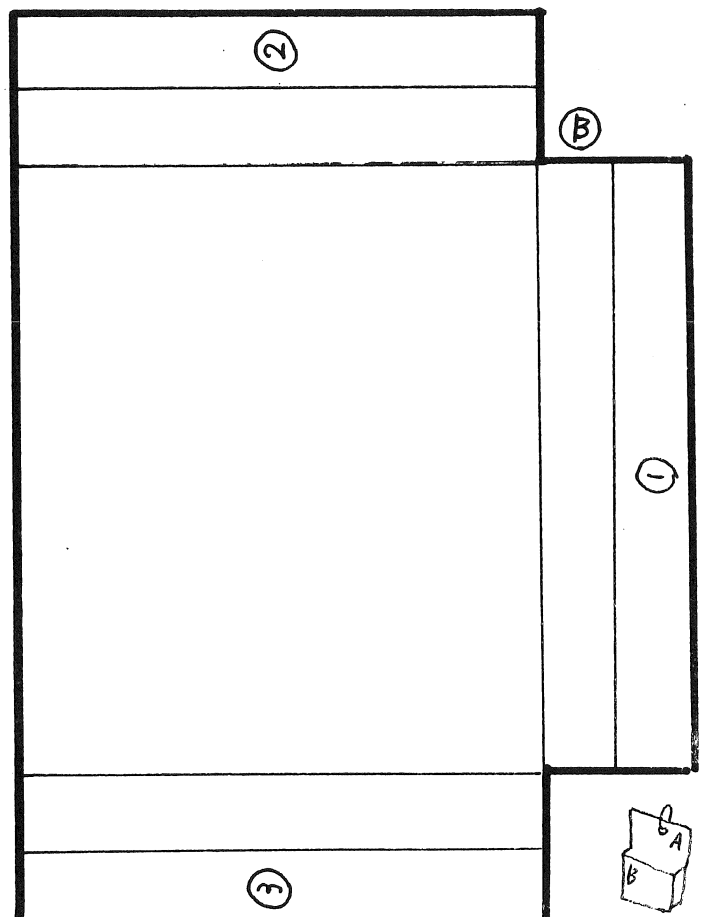
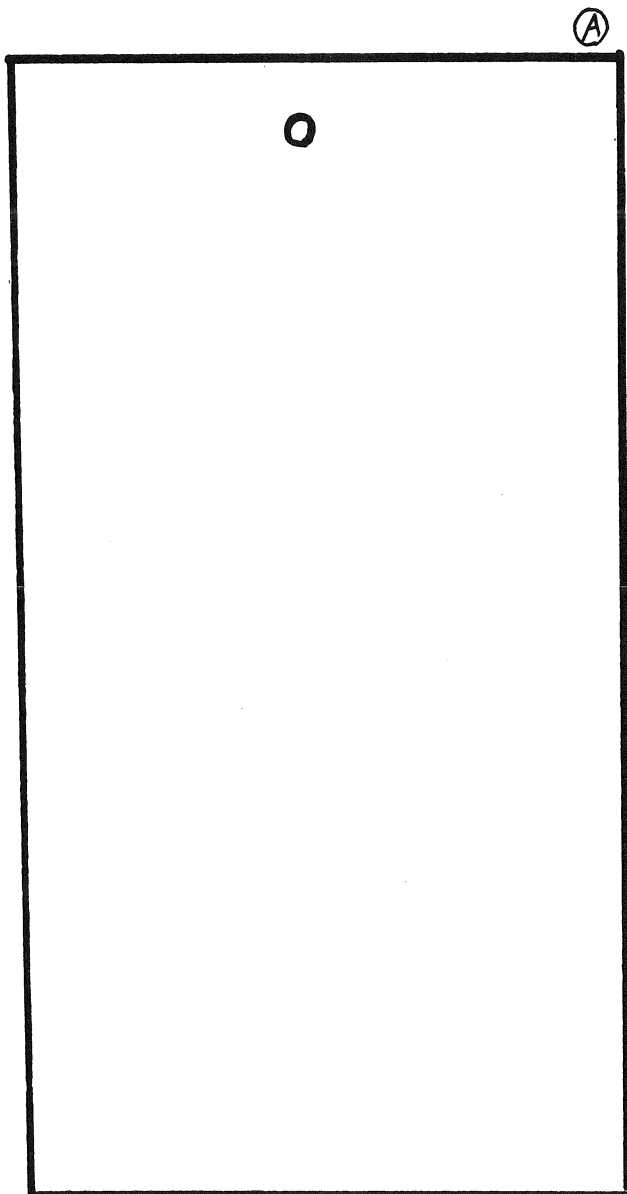
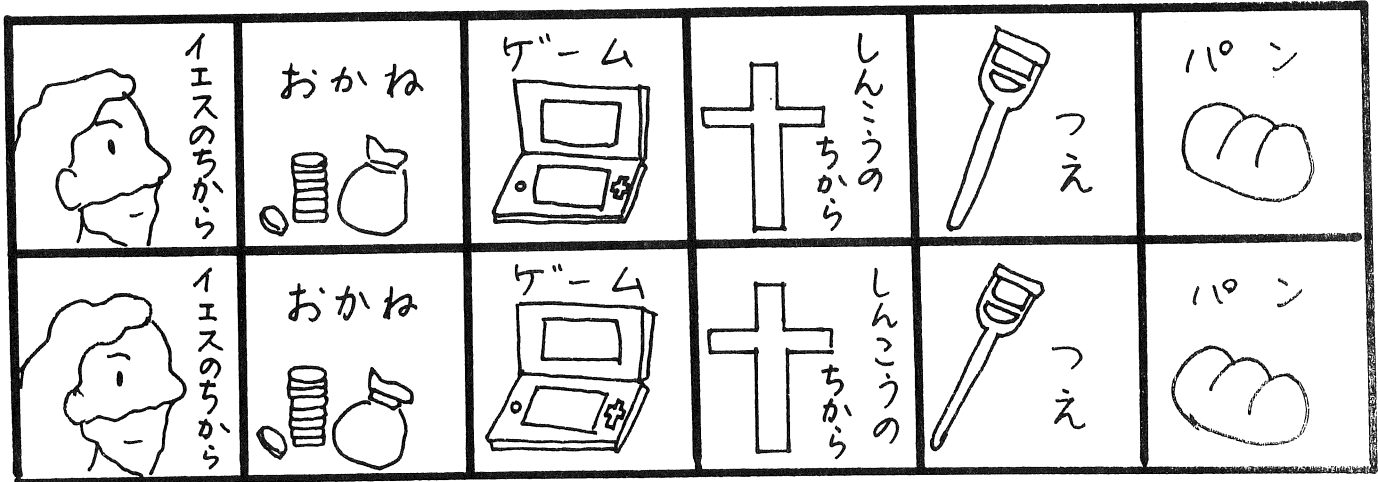


このひとによるいがいにすくい
はない。 しと4・12

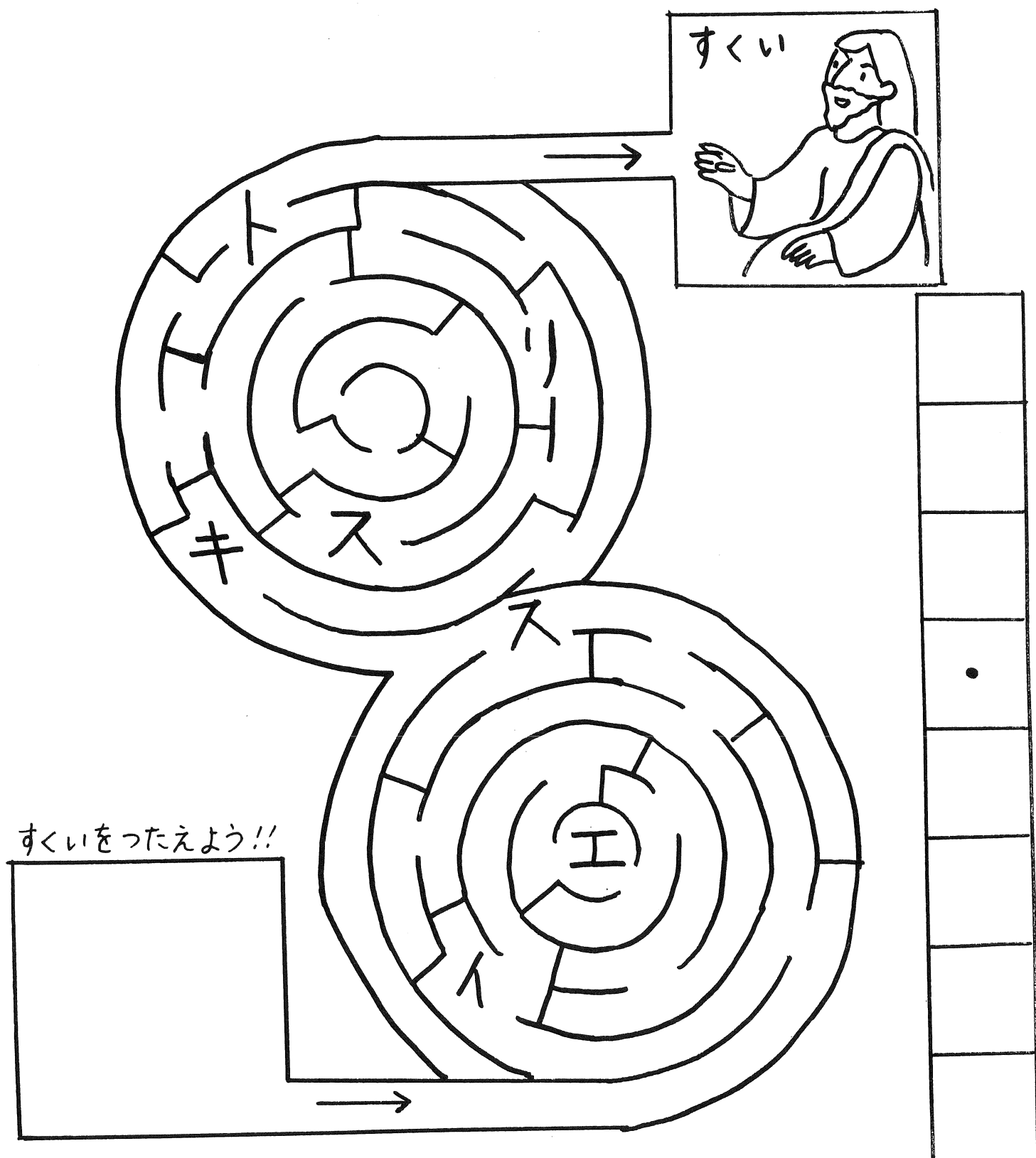
- ① 細い線で全部を切り取る。
壁にかけられるようにAに穴を
開ける(ひもを用意)。
- ② AとBで状差しを作る。
Bの細い線は山折にし、①、②
③の裏にのりをつけ、番号順に
Aの裏に貼る。
- ③ しおりのようなカードを、今日
できたことを一番前にして、
状差しに入れる。



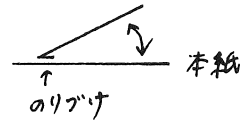
- ①左側の絵に自分の名前を書く。女の子は点線をなぞる。
- ②下にある絵を太線で切る。
- ③切り取ったカードを用いて、ペテロが持っているもの、ぼく・わたしが持っているものと人の絵の上に置いていく。



- ①下の四角の中に、自分の顔を書く。
- ②自分の顔の所からスタートし、救いまで迷路をたどる。
- ③迷路の途中に書いてある字が読めるなら、読みながらたどる。
救いまで行くと、横にある四角に、迷路に書いてあった字を書く。



- ①絵に色を塗る。
- ②下の短冊を太線で切り取る。
- ③短冊の細い線を山折にし、人の絵の横にのりづけする。
- ④祈っているうちに聖霊に満たされて、人々が語り出した場面を
短冊を開いたり、閉じたりして学ぶ。

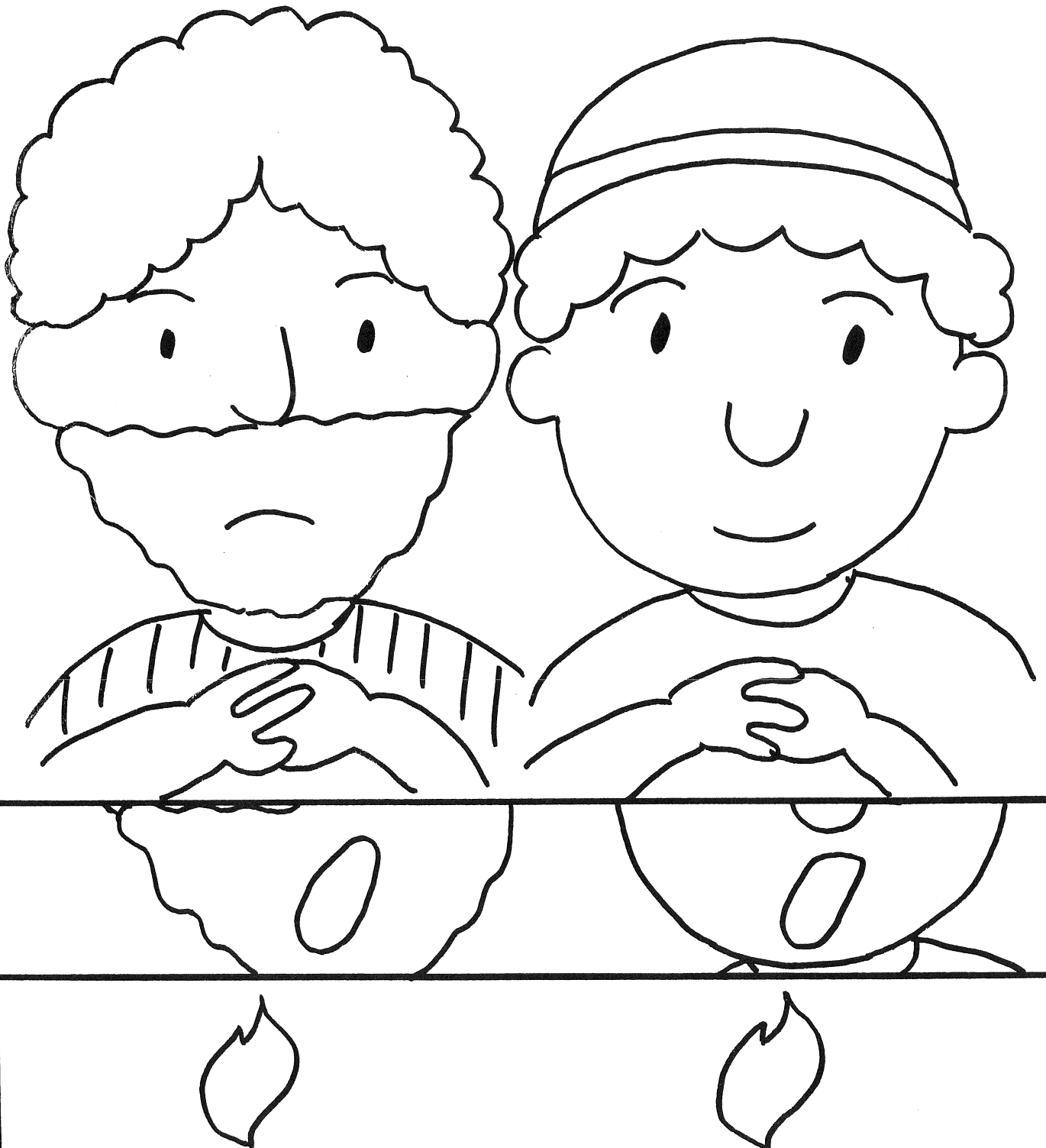


の
り
づ
け

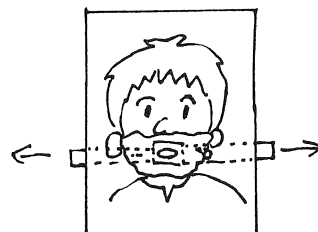
の
り
づ
け

の
り
づ
け

の
り
づ
け

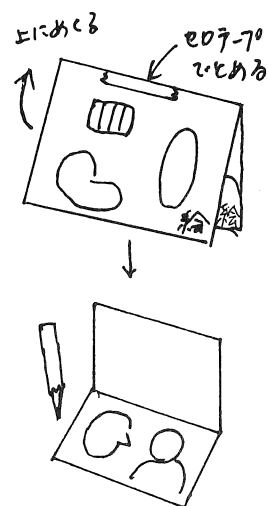
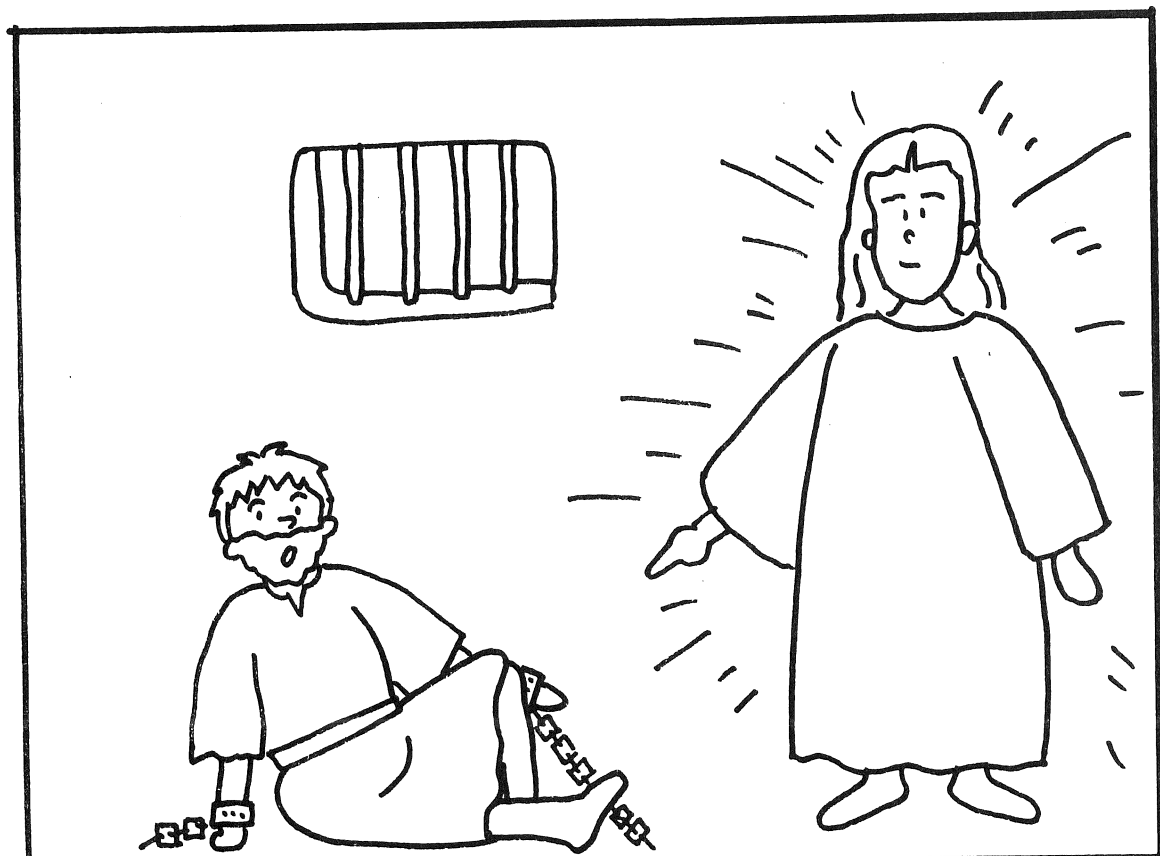


- ① ペテロと短冊の口に色を塗る。
- ② ペテロの顔の点線に、カッターで切込みを入れる。
- ③ 短冊を切り、点線に通す(図)。
- ④ 短冊を左右に動かし、ペテロが話しているようにする。



ペテロ

- ① 絵に色を塗る。 ② 太い線で切る。 ③ 二枚を重ねて上をテープで止める。
 ④ 「み使いに牢屋^{ろうや}から出してもらったペテロは、人々に何を語りましたか」と質問し、
 ページをめくると、ペテロが話しています。点線をなぞらせてください。



A

2009 8月16日 ちらされたひとびとへ

つとめていのりなさい。

ペテロだい1のがみ 4・7

① Bに自分の顔を描く

② A・Bに色をぬり
切り取る

③ Aの手のひらに
切り込みを入れる

④ BをAの切り込みに
図のようにさしこむ

—完成図—



A

かみ^{ちから}のみ力に
まもられている

B

さしこむ

—切り取り線

—— 切り取り線



- ① AとBの□部分に色をぬり
切り取る。
- ② Aの□部分を切りぬく
- ③ A・Bののり部分にのりをつす。
それぞれを車輪にする
- ④ BにAをかぶせ。Bをまわして
Aの□部分にお祈りの言葉を
合わせる。



の
り
し
ろ

おわりが



ちがついている

A

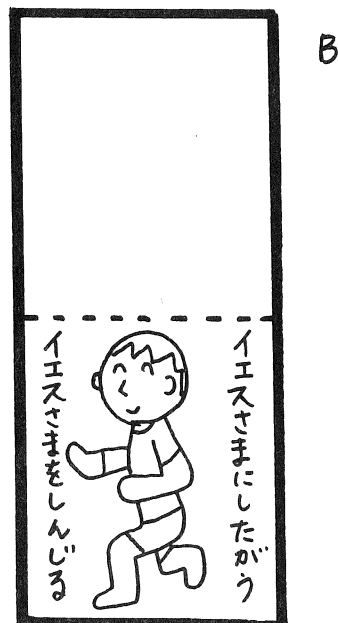
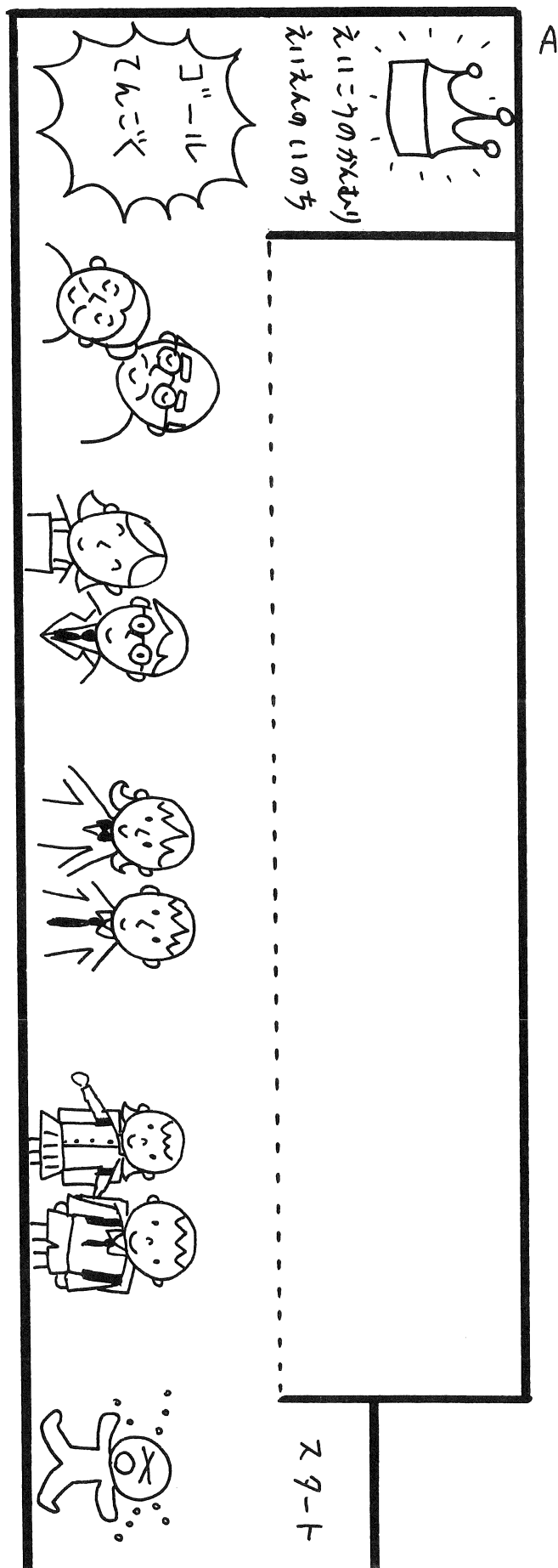
B

の
り
し
ろ

みんなが
イエスさまを
しんじるように

あともだちに
やさしく
できるように

イエスさまの
おてつだいが
できるように



① A・B に色をぬり切り取る

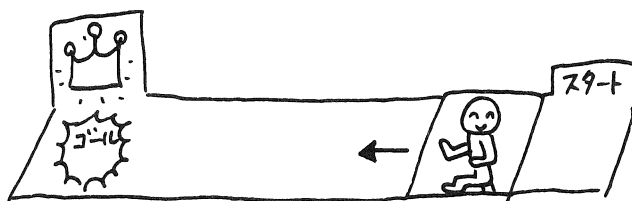
② Aを下図のように立たせる



③ B を中心で半分に折り、Aにかぶせる

④ Aを手で持ち重力かす

— 完成図 —



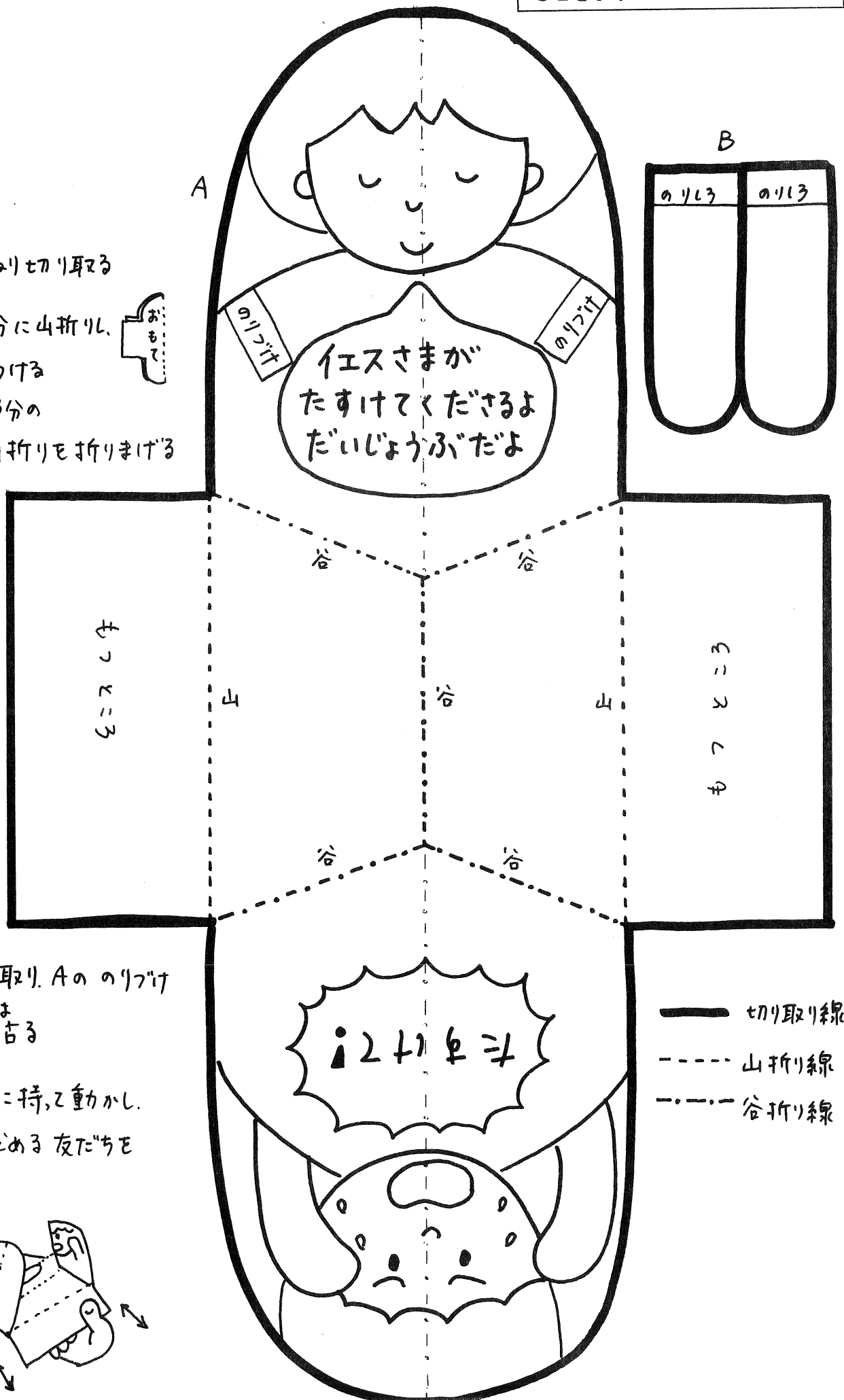
—— 切り取り線 ——— 山折り線

A

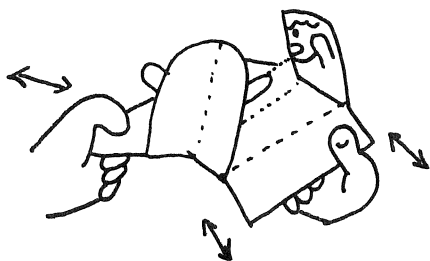
2009 9月6日 マケドニヤのさけび

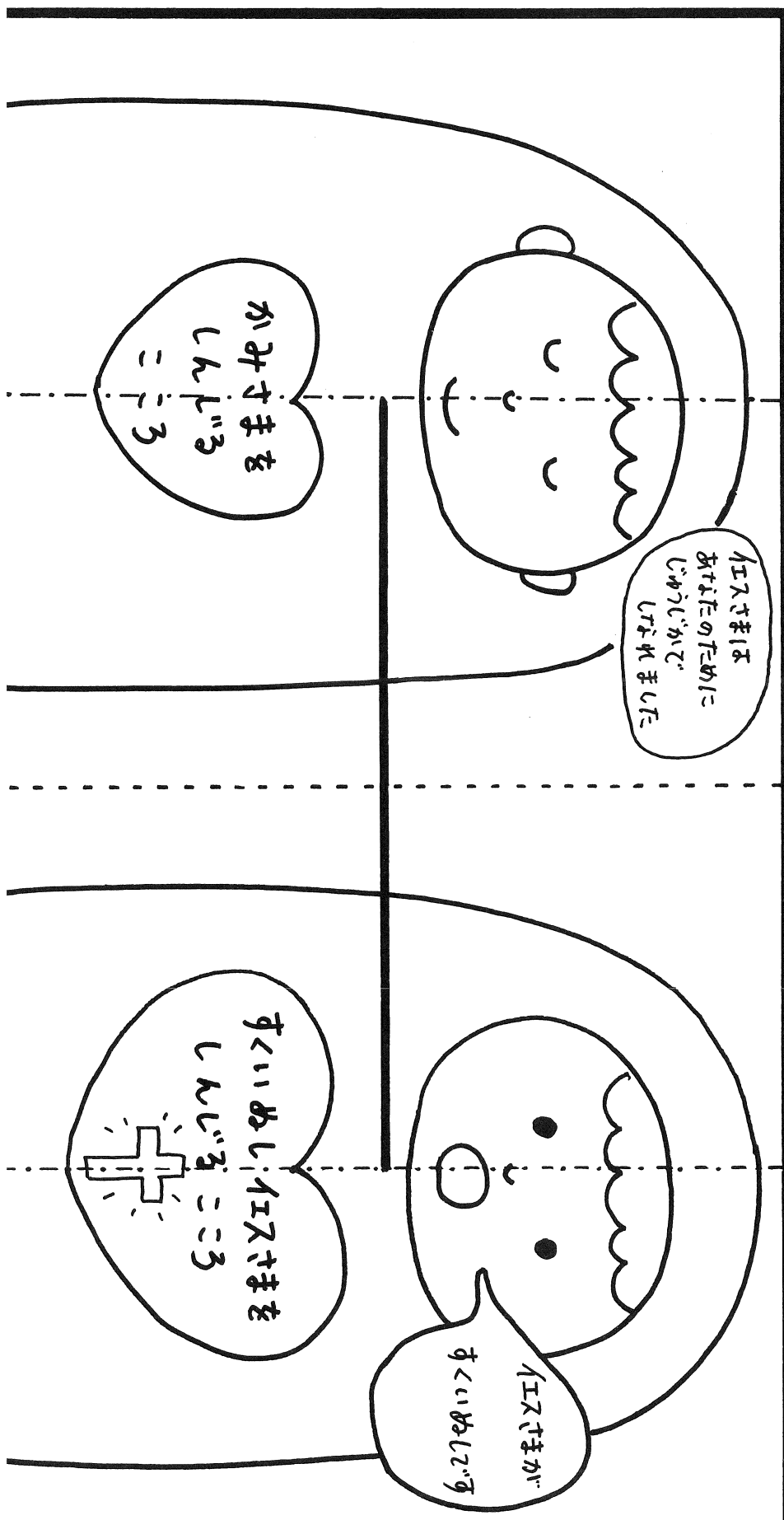
しゅイエスをしんじなさい。
しとぎょうでん 16・31

- ① Aに色をぬり切り取る
- ② Aを縦半分に山折りし、
折りぐせをつける
- ③ まん中の部分の
谷折りと山折りを折りまげる



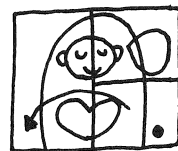
- ④ Bを切り取り、Aの のりしろ
部分に見合う
- ⑤ 図のように持ち、重かし、
助けを求める友だちに
はげます



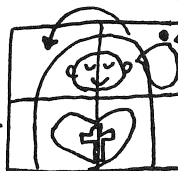


- ① 色をぬりてかり取る
 - ② 中央で山折りし、セカリこめを入れる
 - ③ 谷折りする
- 糸会本のでき上り —

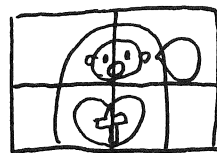
糸会本をめくりながら、イエス様を信じたルデヤのお話しをしましょう。



神様を信じていたルデヤは、ある日パウロから「イエス様はあなたのために十字架にかかって死なれました。イエス様こそ救い主ですと聞きました。すると……(右下めくる)」

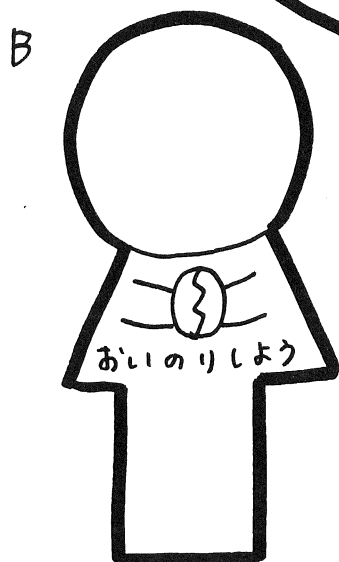
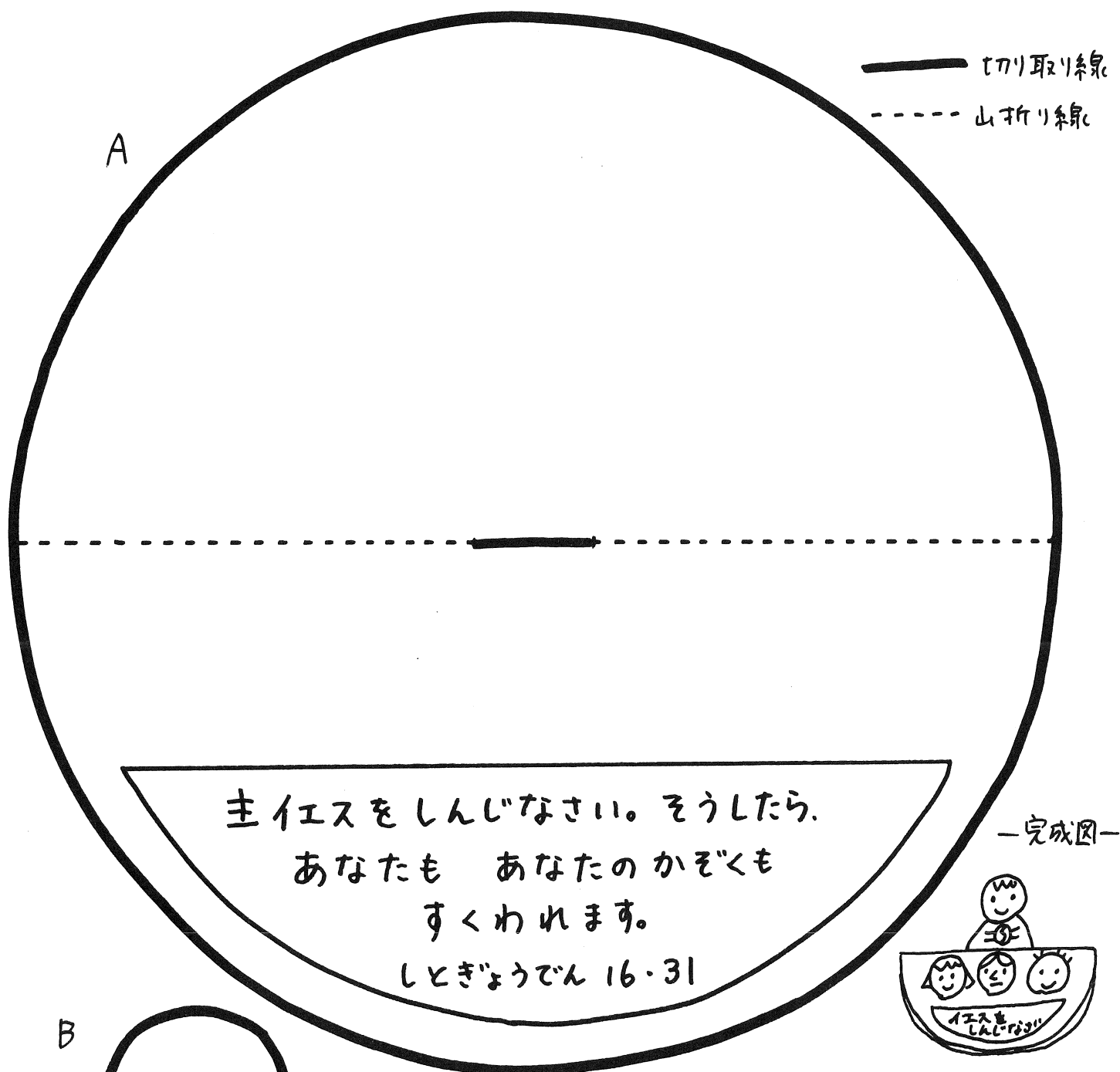


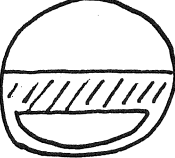
ルデヤに、イエス様こそ救い主、神様だと信じる心が与えられました。するとルデヤはうれしくなて、このすばらしい知らせを……(右上めくる)」

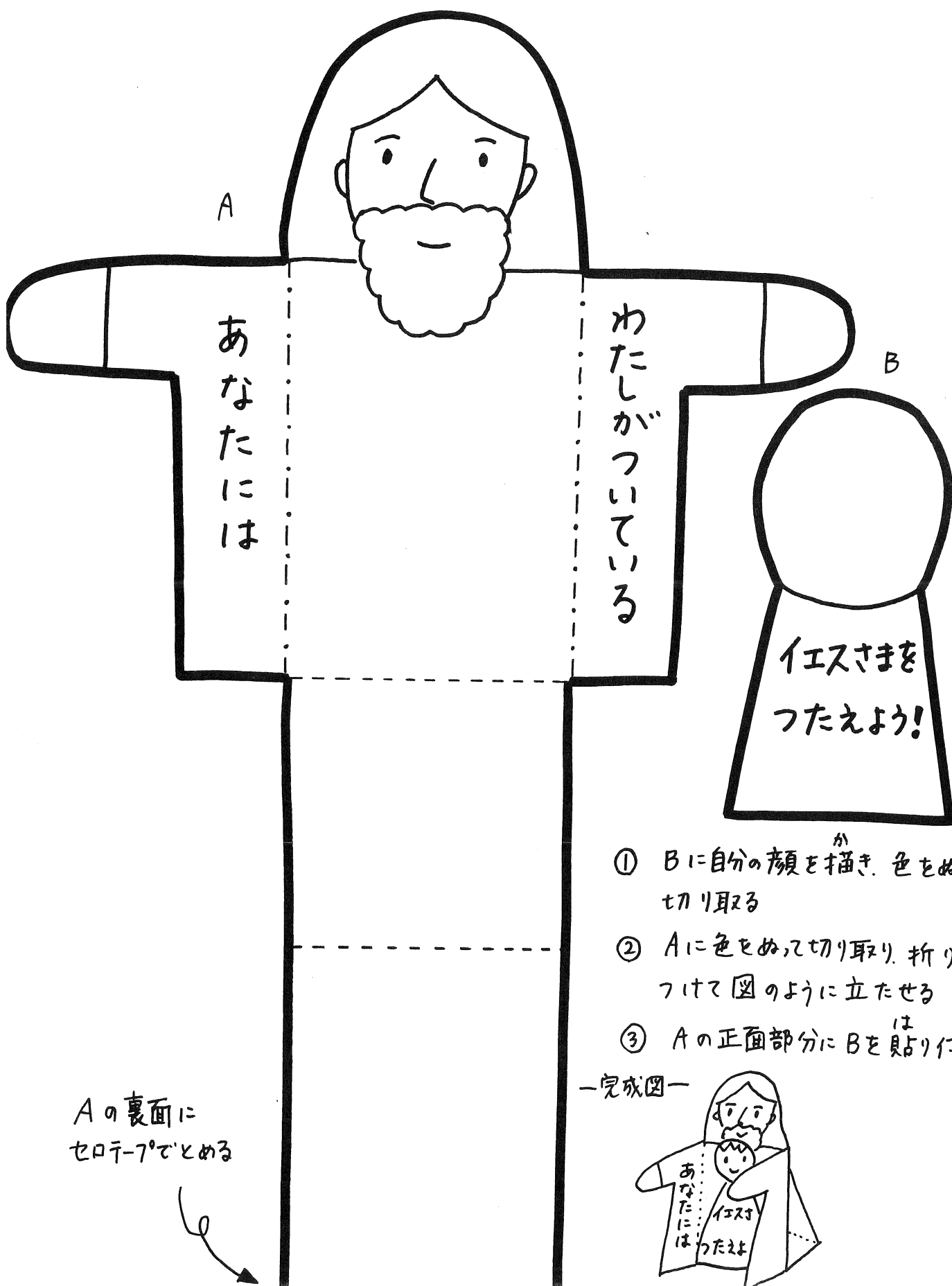


多くの人々に伝えました。

- セカリ取り線
- 山折り線
- .-.-.- 谷折り線



- ① Aの  部分に家族みんなの顔を^か描き、色をぬり切り取る
- ② Bに自分の顔を描き、色をぬり切り取る
- ③ Aの中央に切り込みを入れ、山折りする
- ④ Aの切り込みにBを差しこむ



ワーク A 解説 7~9月

7/5

●話し方のヒント

イエス様は、「聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて」と言われましたが、聖霊に満たされた使徒たちは、力が与えられて、イエス様のことを語り続けました。その話を聞いた人は、罪を悔い改め、洗礼を受けたのです。そして、またこの人たちも、聖霊に満たされて、福音を語る者となりました。それだけでなく、そこに教会ができ、一人一人が教えを守り、交わりを大切にし、祈っていたのです。私たちもこの人たちのように、教会生活を大切にしましょう。

●ワークについて

今日は何ができたかを考えましょう。ワークにある3つ以外にも、カードを作ると良いでしょう。

7/12

●話し方のヒント

聖霊に満たされた使徒たちは、神様のために一生懸命働きました。その働きの中には、奇跡もありました。ペテロとヨハネが、祈りの時に宮に上ろうとしたとき、美しの門のそばを通ると、足の不自由な男性がいました。ペテロもヨハネも施しをするようなものは何も持っていませんでした。しかし、施しを与えるよりもっと素晴らしいものを持っていたのです。この男性に、イエス様の名による癒しの力、救いの力が与えられました。信じる者に与えられる力です。私たちもこの力を体験させていただきましょう。そして、お友だちにも教えてあげましょう。

●ワークについて

ペテロたちが奇跡を行い、証しをする、その力を確認しましょう。

7/19

●話し方のヒント

ペテロをはじめ、イエス様を信じる人たちの働きは目ざましいものでした。多くの人がイエス様を信じたのです。そうなったのは、ペテロの話がすぐわかりやすく素晴らしいものだったからでしょうか。それとも、たくさんの奇跡をしたからでしょうか。いいえ、それはイエス様の名によって語ること、イエス様の名によって行うことの中に、イエス様の力が働いたからです。イエス様の名による以外に救いはありません。私たちもイエス様を信じ、イエス様の救いを伝えましょう。

●ワークについて

救いは、イエス様の名による以外にはないことを覚えましょう。

7/26

●話し方のヒント

ペテロたちの働きがあまりにもすばらしいので、祭司たちは彼らの働きをとどめようと、イエス様の名によって語ることが禁じました。しかし、ペテロたちはそのおどしを受け入れませんでした。なぜでしょうか。言うことを聞かなければ、また牢屋に入れられてしまうかもしれません。ペテロたちは、イエス様の名によってなされる働きの素晴らしさを体験していたので、語らずにはいられなかったのです。イエス様は、私たちにもたくさんの良いことをしてくださいました。そのことを周りのお友だちに伝えましょう。

●ワークについて

祈り、聖霊に満たされた時に、語る力が与えられたことを覚えましょう。

8/2

●話し方のヒント

イエス様を信じるペテロとその仲間たちの働きを良く思わない人々によって、ペテロたちは嫌がらせを受けました。そのことに対して、ペテロたちは攻撃をするわけでもなく、文句を言うでもなく、ただ天に向かって祈ったのです。すると仲間たちは聖霊に満たされて、ますます大胆に神様のことを語り始めました。私たちの周りにも、キリスト教に対して良く思っていない人がいるかもしれません。しかし、私たちにはイエス様がついています。恐れず、イエス様のことを語りましょう。

●ワークについて

聖霊に満たされる前のペテロの姿と、聖霊に満たされた後のペテロの姿を、絵の口の部分を動かし、覚えましょう。

8/9

●話し方のヒント

聖霊に満たされた使徒たちの働きは、驚くほどでした。使徒たちによって多くのしるしと奇跡が行われたのです。イエス様を信じる者がどんどん増えていくので、大祭司やユダヤ人の指導者たちは、自分たちよりも素晴らしい働きをすることを良く思わないで、ペテロたちを牢屋^{ろうや}に入れてしまいました。しかし、夜になると御使いが現われ、牢屋の戸を開け、いのちの言葉を語るように言いました。それを実行しているペテロたちの姿を見た大祭司たちは、どのように思ったでしょうか。私たちもいのちの言葉であるイエス様のことを、お友だちにお話しましょう。

●ワークについて

ペテロが、どんなことがあっても語り続けた言葉は何か、覚えましょう。

8/16

●お話のヒント

イエス様を信じるクリスチャンには、悲しいことや辛い^{つら}いことはないのでしょうか？そうではありません。悪いことも起こります。けれども神様はどんな中にあっても、必ずクリスチャンになった一人一人に、「天国というすばらしい所に入れていただけること」「神様がいつも守ってくださること」をわからせてくださり、喜びを与えてくださいます。私たちも神様に守られていることを信じて、力強く歩みましょう。

●ワークについて

神様の大きな御手の中に守られていることを覚えましょう。

8/23

●お話のヒント

世の終わりが来たらどうなるのでしょうか？地球は燃えてなくなり、新しい天と地が来ると聖書に書いてあります。いつ終わりの日が来てもそこに住むことができるように、準備をしながらイエス様は言われました。私たちは、みんながイエス様のことを信じるように祈りましょう。どんな人にも親切にしましょう。私たちのできるところで、イエス様のお仕事のお手伝いをしていきましょう。

●ワークについて

世の終わりがいつ来ても良いように、お祈りして準備しましょう。

8/30

●お話のヒント

イエス様を信じている私たちのゴールはどこでしょうか？それは天国です。天国で神様は、私たちに栄光の冠のごほうびを与えようと待っていてくださいます。このごほうびをいただくためには、苦しいことがあってもイエス様を信じ続け、教会学校に休まず出席し、み言葉を覚え、お祈りし、イエス様に従うことが大切です。天国で与えられる栄光の冠を目指して、イエス様を信じて歩んで行きましょう。

●ワークについて

小学校に行っても、大人になっても、いつもイエス様を信じ従い続けて栄光の冠をいただきましょう。